

令和3年度第1回横浜市市民協働推進センター事業部会 会議録

議 題	1 部会長選任・職務代理者の指名について 2 市民協働の提案事業の審査について						
日 時	令和3年8月19日(木) 14時から16時10分まで						
開催場所	横浜市市民協働推進センター スペースAB						
出席委員	田辺由美子部会長、伊吾田善行委員、林重克委員、永岡鉄平専門委員、吉武美保子専門委員						
欠席委員	なし						
開催形態	一部非公開(傍聴者0)						
議事・ 決定事項	<p>1 開会</p> <p>2 部会長選任・職務代理者の指名について 部会委員による互選により、部会長として田辺由美子委員を選出。 部会長の指名により、職務代理者として吉武美保子委員を選出。</p> <p>2 市民協働の提案事業の審査について【非公開】</p> <table border="1" data-bbox="427 958 1442 1173"> <thead> <tr> <th>提案事業名</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築</td> <td>78.40</td> </tr> <tr> <td>横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援</td> <td>85.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※詳細は、別紙(第6号様式)のとおり</p>	提案事業名	点数	広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築	78.40	横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援	85.00
提案事業名	点数						
広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築	78.40						
横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援	85.00						
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1: 審査にあたっての考え方</li> <li>・資料2: 広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築(提案書)</li> <li>・資料3: 広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築(プレゼンテーション資料)</li> <li>・資料4: 横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援(提案書)</li> <li>・資料5: 横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援(プレゼンテーション資料)</li> </ul>						
特記事項	なし						

(第6号様式)

市民協働事業審査結果通知書 (提案支援事業)

市市協第554号

令和3年9月7日

災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ (準備会議) 様

横浜市長 山中 竹春

横浜市市民協働推進委員会 (横浜市市民協働推進センター事業部会) での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	広域大規模災害時におけるNPO等と行政、社協の連携体制構築
提案者	災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ (準備会議)
採択の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択
点数	78.40点

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準 (60点) に達している。

《横浜市市民協働推進委員会の意見》

これまでの実績があり、県域でも活動しているため、横浜市での深化が見込める。ビジョンは明快であってもプロセスがなかなかわかりにくい初期段階だが、一年を経て、ステージ毎の具体的な取組が見えてきた。

一方で、自治体・町内会・各区VCとのつながりが薄いように感じ、ネットワークの立ち位置がわかりづらいので、その点も含め、今後のひとつひとつ課題解決にむけての活動に期待をしている。

災害はいつおこるかわからず当事者意識になるのはとても難しいため、これまでのネットワークをフル活用しながら、さらに新たなネットワークや企業とのつながりをつくり定期的に顔を合わせ、日常時にも活かされてくることを期待する。

なお、今後の取組にあたっては、コアな方々以外にもネットワークやつながりを広げていくためには、具体的な事例、実績が出てくるとより分かりやすいのではないだろうか。

またネットワークを作った後の具体的な活動が見えにくいため、ネットワークを作ってからどう動くか、だれが意思決定するのか等を今後盛り込んでいくとよいのではないかと考える。

(第6号様式)

市民協働事業審査結果通知書 (提案支援事業)

市市協第553号

令和3年9月7日

ちょこっと子育てレスキュー隊 様

横浜市長 山中 竹春

横浜市市民協働推進委員会 (横浜市市民協働推進センター事業部会) での審査をふまえ、結果を通知します。

提案事業名	横浜市北部地域療育センターを利用するきょうだい児の地域での支援
提案者	ちょこっと子育てレスキュー隊
採択の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択
点数	85.00点

審査の結果、上記の通りの評価であり、提案団体は採択基準 (60点) に達している。

《横浜市市民協働推進委員会の意見》

障害児を持つ親の立場に立って取り組んでいる、まさに市民活動だと感じた。様々な制度等のまさに「狭間」にあった事例だと思う。

一般的な子育て論からさらに深掘りし、早急に行政とともによりよい対応策に取り組み、継続して事業を実施していくための制度確立に向けてがんばってほしい。子育て支援課、障害児福祉保健課、また都筑区と緑区と行政をつないだ協働事業のモデルケースになることを期待している。さらに、市内の他療育センターも同じ課題を抱えていると想定されるので、療育センター間での情報共有も図っていただきたい。

実現、継続については、保育士の確保や収入に対する課題があると思われるため、実践を通じてクリアされていくことを期待している。

この取組は、広く広報することによって寄付者拡大や企業からのサポートも得られる事業だと思う。

人の確保の点については、ボランティアも無償でやりたい人もいないだろうか。また、全国や海外の事例の類似事例を調査すると参考になるのではないかと考える。